

令和7年度 入院時重症患者対応メディエーター 実務者発表会

日 時：2026年1月24日（土）13:30～17:30

開催方式：オンライン開催 参加費：無料（要事前参加登録）

対 象：現場で実際にメディエーターとして活躍されている皆さん、
養成講習を修了されている方

●開催趣旨

入院時重症患者対応メディエーター養成講習は令和元年度に始まり、令和7年度にはオンラインで12回（6日間）と学術集会併設の対面形式で1回の計13回、当年度末までには通算で約1800名以上の方に受講いただけるよう開催を重ねています。令和4年度からの診療報酬加算算定開始もあり各回の受講申込倍率が高まりましたが、現在は5-6倍程度で推移しています。

受講された皆さんの中には「入院時重症患者対応メディエーター」として、医療チームのなかで、あるいは患者支援の一環として活躍されている方、お一人で活動されている方、複数で活動している方、現時点での活動はされていない方など様々な状況があるかと思われます。

診療報酬加算の算定開始から4年が経過するなか、関係者の皆さんのが一堂に集まり、具体的な実務を行う体制や工夫、アイデア、そして課題について全国の皆さんに共有していただきたく、第4回となる実務者発表会を企画いたしましたので、ぜひ積極的なご発表をお願いいたします。もちろん視聴だけでも歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。

●プログラム（予定）

入院時重症患者対応メディエーターの運用体制、施設における現状と課題、適した職種や多職種連携、運用マニュアル、今後の資質向上や知見・事例共有のあり方についてのプログラムを検討しております。

●演題募集（期間：2025年12月～2026年1月16日（金）予定 ※その後の受付もご相談下さい）

発表会においては、入院時重症患者対応メディエーターとして活動をされている方を中心にご発表演題を募集いたします。詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイト：<http://hmcip.umin.jp/meeting/>

開催準備事務局：厚生労働科学研究（移植医療基盤整備研究事業）脳死下、心停止後の臓器・組織提供における効率的な連携体制の構築に資する研究（研究代表者 横田 裕行）分担研究 重症患者対応メディエーター（仮称）のあり方に関する研究（研究分担者 三宅 康史）
帝京大学医学部救急医学講座 東京都板橋区加賀 2-11-1 E-mail : hmcip-office@umin.ac.jp